

⑮

あわしま  
粟島

じょうのやま

城山222m

しっきややま

紫谷山145m

あしまやま

阿島山181m

2014年11月30日



【粟島】面積：3.68km<sup>2</sup> 周囲：16.5km 最高点：城山222m  
 人口：289人 (H23) 学校：なし 飲食店：4軒 店：3軒 宿：4軒  
 詫間・須田港からで15分 (片道320円)  
 詫間・宮の下港からフェリーで50分 (志々島経由片道670円)  
 スクリューの島と言われる粟島は、もともと3つの島が潮の流れで陸続きとなったものです。有形文化財の粟島海洋記念館は、明治30年日本最初の海員養成学校として設立され昭和62年に廃校となりました。建物の中は資料館として昔の船舶機器や模型などが展示されています。漂流郵便局 (旧粟島郵便局) は、届け先が分からない手紙を受け付ける郵便局で「漂流郵便局留め」という形で、いつか宛先不明のところに届くまで漂流私書箱に手紙を漂よわせています。

### 【粟島 城山 222m・紫谷山 145m・阿島山 181m 山行記録】

(7:25)粟島汽船に乗り須田港出発。たくさんのカモメたちが私たちの船を見送ってくれました。(7:40)粟島港到着。まずは粟島で一番高い城山を目指します。下船後すぐ左手に曲がり、海洋記念館が見えたら手前の道を右にまがってなだらかな坂を上がり、  
 (8:00)旧粟島小学校裏とプールの中の道から登山道へ。



落ち葉で滑りやすい登山道

竹林やミカン畑を通り過ぎ、整備された長い木道の枯葉を踏みしめながら歩きます。休憩を一度挟みながら

(8:30)城山頂上へ到着。展望台からは360度見渡せ、美しい瀬戸内海の島々から、紫雲出山、飯野山、赤石山系まで見えました。空にはトンビが優雅に飛んでいました。

(8:46)城山下山開始。登ってきた木道を今度は枯葉で滑らないよう気を付けながら下りました。

(9:10)有形文化財の粟島海洋記念館へ。(9:36)瀬戸内国際



紫谷山から城山を見る

芸術祭 2013 の出展作品であった漂流郵便局前を通り、

(9:41)その近くでレーションを取りながら地元のY川さんを待ちました。次に目指す紫谷山は藪漕ぎらしく登るのは困難だということで、粟島に住んでいるY川さんに案内して頂きました。

(10:07)まず紫谷山下山口、不天の洲辺りの路肩にY川さんの車を置きに行き、皆で歩いて(10:16)紫谷山登山口へ。(10:21)すぐ藪漕ぎに突入。鋸やハサミを使い一列で進んで行きます。途中Y川さんに粟島のことをいろいろお聞きしながら楽しく藪漕ぎを進み(11:05)やっとのことで

巨岩がある第一ピークへ。たくさんの巨岩を注意深く登り渡り歩きながらまた藪こぎに突入。第2ピークも通過し(12:10)やっとのことで紫谷山の頂上へ。標識は何もなく、三角点を確認しすぐ下山開始。下りも藪こぎしながら転ばないように注意しながら進みます。途中からは景観が開け胸ぐらいのブッシュになり、筆先の形に似ている不天の州や海を眺めながら(13:00)やっとのことで下山。

(13:21)西浜の海岸までY川さんの車で案内して頂き、ここでY川さんにお礼を言い、記念写真を撮りお別れです。

その後、海をみながら遅めのお昼ごはんへ。

(13:42)西浜から出発し3つ目の阿島山を目指します。

(13:45)道はあるものの藪のトンネルを何度も潜り頂上へ上がる道を探しますがなかなか見つからず、結局阿島三十三観音の巡礼道を一周したようです。

(14:38)途中黄色テープの頂上へ上がる道を見つけ、ひろい尾根沿いを突き進んで行きます。帰り道に迷わないようにS上さんが用意していた赤布テープを枝に括りながら(15:00)やっとなら頂上へ。雨も降りだし

(15:05)急いで下山開始。先ほど枝に括った赤テープを目印に下って行き、ラストを歩いている人が赤テープを回収。

(15:20)黄色テープのあった元の巡礼道へ。今度は観音様に彫ってある番号を数えながら下山。雨が大雨になり早く下山したいのになかなか辿り着きません。

(16:22)やっとのことで登山口に到着。

(16:45)粟島港フェリー乗り場へ。

城山は整備された登山道で登ったことはあっても、紫谷山、阿島山は全員初めての山でした。藪漕ぎもありましたが、岩場や、ひっそりとある巡礼道など様々な形態の山に登れて、雨にも降られ(笑)、思い出深い山行となりました。



飯野山が見える



阿島山